

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.5 令和元年 5月29日発行

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

「ウサギとカメ」の話が教えてくれること

校長 黒島 俊一

体育祭に向けた練習たけなわ。今週からは特別時間割が始まり、午前中は学年練習や全体練習が1時間ずつ、また午後からも応援練習や学級練習、更には係活動、その後放課後には部活動と、子どもたちは心も体もフル回転で毎日一生懸命に頑張っています。こうした中、過日、帯広では5月としては史上最高の38.8度の気温を記録したり、本日は雨天で20度以下の気温になったりと、急激な気温の変化による子どもたちの体調管理が気になるところです。

先日の運動会の特別時間割が始まる前の体育祭全校意思統一である「全校集会」では、「体育祭・運動会」という行事が好きな人？」の私からのお尋ねに、全校の実に3分の1以上の子ども達が「好きではない」と答えていました。

私は、自身が「体育祭・運動会がずっと大好きだったこと」、それは「運動が苦手、得意、上手、下手などあっても、みんなで知恵を出し合いながら勝利に向かってがんばり合うことを極めればおもしろいこと」が理由であり、更に「知恵を結集した取組は勝ち負け以上に尊いものであること」などを話しました。

こんなこともあって、今日は、子ども達の取組をみて思った「ウサギとカメ」の話から二つのことを伝えたいと思います。

一つ目は、「かけっこで一番になる方法」です。

足の速いウサギは、足の遅いカメに負けてしまいました。なぜ、ウサギは負けてカメは勝ったのでしょうか。それは、ウサギはカメを見ていて、カメはゴールを見ていたからです。ウサギはカメに勝てばいいと思って寝てしまいました。しかしカメはただひたすらゴールを目指しました。ゴールとは目標のことです。目標を見失ったウサギは負け、自分の目標を目指したカメが勝ったのです。カメにとっては、ウサギとの勝敗は関係がないことだったのです。体育祭のかけっこで一番になる方法、それは「カメを見るな、ゴールを見ろ！」つまり目標を見るということです。是非、周りの人に惑わされずに自分のゴールを目指してがんばってほしいです。

二つ目は、「いじめに負けない方法」です。

ウサギは足の遅いカメに「おまえ、足のろいな」といじめています。こんな風に友達から嫌なことを言われたらどうするでしょう。傷ついて、泣きそうになってしまいます。そこで、考えたのが、新・「ウサギとカメ」の話です。

ウサギに足が遅いと笑われ、いじめられたカメ。カメはそこでこう言いました。『そんなら、君ともぐりっこの競争をしよう。ボク、池にもぐるの得意だよ！』それを聞いたウサギは、『えー、僕は走るの速いけど、もぐるのは苦手だよ』えらそうにしていたウサギは、ぎゃふんとなりました。それからというもの、二人はお互いの良い所を大事にして、仲の良い親友になりましたとき。…どうでしょう。

一人ひとり得意なこと、苦手なこと、個性があり、みんな違います。たとえ走ったり、跳んだり、力比べが得意でなくても、リレーの順番を考えたり、長縄跳びや背中渡り競争の作戦、また応援合戦の見せ方、各係活動など、一人一人の持ち場で、自分に自信を持って、良い所を伸ばしてほしいのです。友達の良い所をたくさん見つけ、みんなで協力できる、素敵な大空の子どもたちを願うのです。

<参考・引用文献：プリンスイパル、学事出版>



指の先まで神経を行き届かせて、こだわりたい、極めたい!



ところを一つに息をあわせて駆け抜けたい!

体育祭に向けて

体育祭メインテーマ「戮力協心（りくりよくきょうしん）」

サブテーマ「彩れ！（いろうどれ）青春の1ページ」

特別時間割に入り3日目。天候の不安定から練習時間の確保のため、適宜時間割の修正も加えながら、6月2日（日）の第46回体育祭に向けた取組が進められています。

明日30日からは、再び暑い日差しが想定される中での屋外の練習が始まります。全校一斉の動きが始まり、体育祭へ向けた雰囲気がいっそう盛り上がってきています。

この時期、一番心配されるのは子どもたちの体調管理とけがや事故の発生です。毎日の練習に取り組む中、少しずつ疲れが残る時期にもなり、体の不調を訴える子が増えたり、けがをしたりする子が増える時期でもあります。早寝早起き朝ご飯、お子さんの毎日の健康観察についてもご配慮いただきますようお願いいたします。学校でも未然防止に向けた、準備運動やこまめな水分補給や休憩をしながら、無理のない日程での練習を計画し、子どもたちも一生懸命に頑張っており取り組んでいます。

大きな行事の取組、そして成功の裏には学校と家庭の連携が不可欠です。どうぞ学校と家庭で手をつなぎながら、楽しい体育祭にするべくご協力をよろしくお願い致します。

修学旅行に行ってきました。その1

修学旅行の意義・目的は、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展につながる体験的な活動を進める中、宿泊など平素と異なる環境の中で見聞を広め、自然文化に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳について実践的に学ぶことです。ですから物見遊山や観光旅行、買い物旅行に終わらせない配慮が必要になるものです。

本校で5月8日～11日行なわれた修学旅行も、担当教諭を中心に慎重に日程を組み、段取りを整え、事前準備としての事前学習等も念入りに進め、当日の実施となりました。また、事故、急病等、最悪の状況も想定しながら危機管理に努めて参りました。幸い大きな事故もなく、子どもたちは疲れた様子の中でも満足そうな笑顔でかえってきてくれたことが、何よりもうれしいことでした。保護者の皆さんにおかれましても、持ち物をはじめ、お子さんの健康管理等、担任との連絡調整等、様々なご配慮、ご協力に感謝いたします。帰宅後のお子さんから、ご家庭ではどんなお土産話を聞くことができたでしょうか。

お子さんの毎日のすがたを見てあげてください

1. 動きやすい服で登校していますか？

明日からまた暑い日が続きます。寒暖の差に対応に向けた体温調整、短パンTシャツなどの着用、ハンカチやタオルなど、登校前のお子さんの姿、持ち物など気にかけてください。

2. 靴のサイズはちょうどよいですか？

大きすぎても小さすぎても活動に支障が出てしまいます。今一度靴のサイズを確認下さい。新しく準備をされるご家庭は、本番に備えて履きならしておきましょう。

3. 生活のリズムはどうですか？

疲れがたまってくると、思わぬけがや事故を呼びます。遅い時間までテレビ・ゲームをしていませんか。早寝、早起きでお願いします。

4. 栄養のバランスを。朝ご飯はとっていますか？

1日に1～3時間ほどの屋外での学習が続いています。朝食抜きでは午前中の活動がづらいこととなります。

5. 無理をせず、調子が悪いときは担任へ！

集団の動きの中では、本番が近づくとついつい無理をしがち。調子が悪いときは遠慮なく担任へ伝えて、しっかり休んで下さい。学校でも健康観察、様子観察に努めます。

修学旅行で東日本大震災の被災地を訪れた帯広・大空中3年生の反省会が14日、校内で開かれ、旅先での行動を振り返った。生徒たちは現地での見聞をまとめ、7月に報告会を行う。市教委によると、昨年度と本年度、修学旅行先に震災被災地を含む東北地方を選択したのは市内全14中学のうち同中のみ。今月8～11日で3年生54人が宮城県南三陸町で語り部から津波の様子を聞くなどした。

反省会では、引率した十倉智秀教諭(40)が、あらたに「語り部の話が、防災意識を高めてくれた」と話した。

(鰐淵小百合)

生徒ら高めた防災意識

帯広・大空中 被災地へ修学旅行



修学旅行で訪れた南三陸町で語り部の話を聞く生徒たち（帯広・大空中提供）